



ふくちゃん新聞

2023.4.1 No.160-②(4年生～)

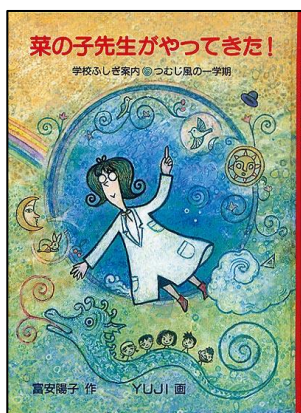
発行:生駒市図書館 生駒市辻町 238 番地 ☎0743-75-5000 <https://lib.city.ikoma.lg.jp/>

テーマ 学校

『菜の子先生がやってきた!』

がっこう 学校ふしぎ案内 ● つむじ風の一学期

富安陽子/作 YUJI/画 福音館書店



研人は春から四年生。転入する新しい学校を見に行くと、フェンスごしに校庭の桜の木の下に立つ女の人が見えました。その人は、白衣を着て、丸眼鏡をかけた「菜の子先生」。先生は、春のおとずれにはめをはずし、桜の木が一本どこかへ行ったと言います。先生と研人は、学校の中をさがしはじめますが……。



『ユウキ』

伊藤遊/作
上出慎也/画
福音館書店



「ユウキ」—それは、小学校に入学して以来、おれの前に現われ、友だちになった三人の転校生の名前だ。もし今度、転校生がやって来て「ユウキ」という名前だったら、そいつとおれは友だちになる運命なんだ…。そう考えていた六年生の初日、二人の転校生がやって来た。「ヤマモトヒロノブ」と「ノダユウキ」。でもユウキは占いが得意な女の子だったんだ。



『明日のランチはきみと』

サラ・ウィークス/作
ギター・ヴァラダラージャン/作
久保陽子/訳 フレーベル館

ぼくはインドから引っ越してきたラビ。クラスでの成績だったのに、アメリカではうまくいかない。英語をもう少し練習するよう特別支援教室の手助けを受けることになった。そこには、ぼくをつまづかせたジョーがいる。よし、明日こそは人気者のディロンとランチを食べるぞ! ぼくはジョー。ぼくの脳は騒音に弱い。ラビがぼくに代わってディロンの新しいターゲットになってほしいけどかわいそう。やつがウインクするときにはなにかたくらんでいるんだよ。

ところがディロンは、二人にいいわるなあだ名をつけて、からかいます。ラビとジョーは少しずつお互いを信用するようになり、ディロンをやっつける作戦を考えます。

私たちの身近な水

すいどう みず
水道の水はどこからくるの？

空から降ってくる雨は、そのままでは飲み水や洗濯などの生活には使えない。水道の水は、いろいろな施設を通して家に届くよ。そのしくみを調べてみよう！

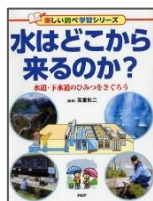


すいどうすい
『水道水がとどくまで』
(いま「水」を考える① 沖大幹／監修 岩崎書店)

『みんなの命と生活をささえる
インフラってなに？①水道』



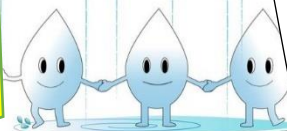
～飲み水はどこからくる？～』
(こどもくらぶ／編 筑摩書房)



『水はどこから来るのか？』

水道・下水道のひみつをさぐろう』
(高堂彰二／監修 PHP 研究所)

かたち みず
形をかえる水



水道の水は、ぽとぽととしずくになったり、勢いよく飛び出したりしますね。水はいろいろな形に変わります。水の驚きの姿を観察できる本です。

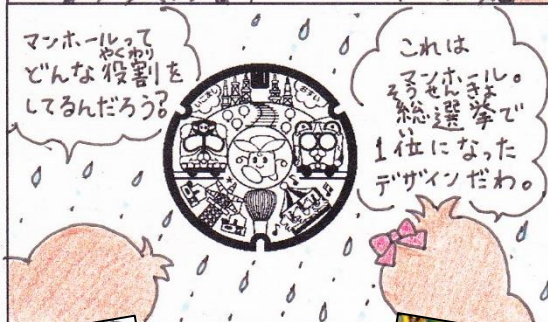


『ひとしずくの水 A DROP OF WATER』
(ウォルター・ウィック／作 林田康一／訳 あすなろ書房)



『ガリレオ工房の水のはみつ ー変化するすがたー』(伊知地国夫／写真 土井美香子／文
滝川洋二／監修 さ・えら書房)

マンホールのひみつ



『マンホール大百科 西日本編』(マンホール研究会／編 鈴木出版)

『大きな写真と絵でみる地下のひみつ②上下水道・電気・ガス・通信網』(土木学会・地下空間研究委員会／監修 あすなろ書房)

『水のインフラ』(日本のインフラ！伊藤毅／監修 ほるぷ出版)



いこましとしょかんについて



かしだし
ひとり
1人12さつ
2しゅうかん
やす
お休み

ひとり
1人12さつ
2しゅうかん
げつ
月よう日(祝日は開館)

かいかん 9:30~17:00



いこまきまとしょかんは
生駒駅前図書室は
平日火～金よう日20:00まで

かんないせりび だい きん び
館内整理日(第1金よう日)・年末年始

本の検索や
イベントなどの
さいしんじょうほう
は、コチラ！

